

2026年6月期 決算説明会

株式会社CIJ

証券コード:4826

代表取締役社長 坂元 昭彦

1. 業績結果
2. 財務諸表
3. 活動報告
4. 中期経営計画の進捗
5. 2027年6月期配当予想

【ご注意】

- コメントには、主観的な内容が多く含まれております。
- 予想値及びコメントは、一切、正確性・妥当性を保証するものではありません。
- 数値は基本的に百万円単位で表記し、百万円未満は切り捨てております。
- 率・差異等は概算値を用いており、決算短信・有価証券報告書等での記載値とは異なる場合があります。
- 本資料に記載されている各種サービス名、商品名、会社名等は各社の商標または登録商標です。
- 本資料に記載されている会社名等は敬称を省略しております。

1. 業績結果

単位:百万円

	2026年6月期		計画との比較	
	当初計画	実績	差額	達成率
売上高	28,500	29,424	924	103.2%
営業利益	2,250	2,619	369	116.4%
経常利益	2,280	2,663	383	116.8%
当期純利益※	1,500	1,804	304	120.3%

売上高

公共分野、エネルギー分野の受注が堅調に推移したこと、及びインフォテックソリューションを連結子会社化したことにより、**計画比増**

営業利益

経常利益

当初計画のとおり給与水準の引き上げや社員の待遇改善などによる人的投資を行った一方で、売上高の増収や収益率改善が計画を上回る進捗で推移したことにより、**計画比増**

当期純利益※

営業利益、経常利益の増加に加え、賃上げ促進税制の適用等により法人税、住民税及び事業税が想定以上に減少したことにより、**計画比増**

※親会社株主に帰属する当期純利益

単位:百万円

	2025年6月期 実績	2026年6月期 実績	前年同期との比較	
			増減額	増減比
売上高	26,899	29,424	2,525	9.4%
営業利益	2,170	2,619	448	20.7%
(営業利益率)	(8.1%)	(8.9%)	—	—
経常利益	2,204	2,663	458	20.8%
当期純利益※	1,495	1,804	309	20.7%

売上高

公共分野、エネルギー分野の受注が堅調に推移したこと等により増収

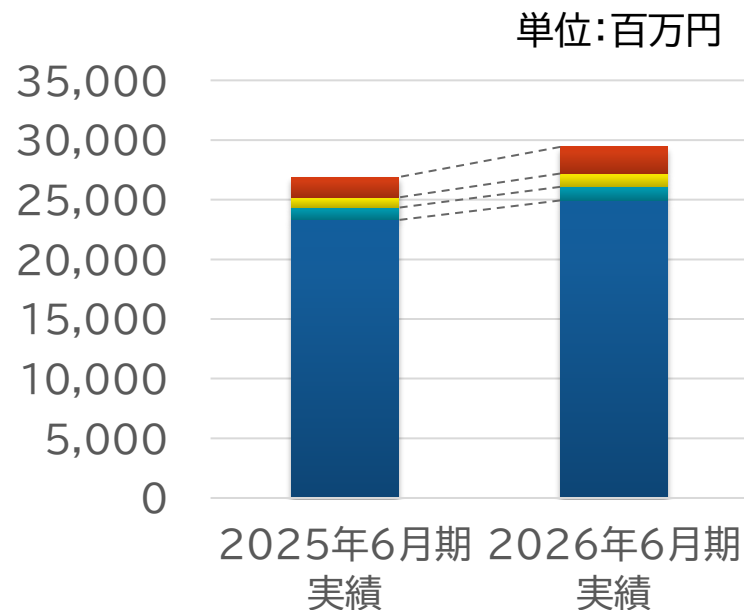
営業利益

経常利益

当期純利益※

売上高の増収、及び前期において発生した一部案件の想定を上回るコスト増を
当期は抑えられたこと等により大幅に増益

※親会社株主に帰属する当期純利益



単位:百万円

事業・品目		2025年 6月期実績	2026年 6月期実績	増減額	増減比
システム開発等	システム開発	23,300	24,936	1,636	7.0%
	コンサル・調査研究	1,033	1,140	106	10.3%
	SI/PI※	858	1,116	258	30.1%
	その他	1,707	2,231	524	30.7%
合計		26,899	29,424	2,525	9.4%

システム開発

公共分野、エネルギー分野の受注が堅調に推移したこと等により増収

コンサル・調査研究

情報・通信分野におけるプロジェクト支援や技術支援案件等の受注が堅調に推移し増収

SI/PI※

公共分野向けのシステム導入支援案件及び福祉総合システムの受注が堅調に推移し増収

その他

情報・通信分野における運用保守案件の受注が堅調に推移し増収

※システム／パッケージ・インテグレーション・サービス

単位:百万円

2025年6月期			2026年6月期		
顧客名(1,228社)		売上高	顧客名(1,206社)		増減額
①	SCSK	2,934	①	NTTデータ※	59
②	NTTデータ※	2,918	②	SCSK	▲51
③	日立製作所	2,150	③	TISI	120
④	TISI	2,119	④	日立製作所	▲111
⑤	NTTテクノクロス	1,198	⑤	NTTテクノクロス	▲134
⑥	日立産業制御ソリューションズ	649	⑥	日立産業制御ソリューションズ	86
⑦	中央コンピュータシステム	538	⑦	中央コンピュータシステム	77
⑧	日本電気	522	⑧	日本電気	▲81
⑨	BIPROGY	388	⑨	NTTデータ先端技術	179
⑩	日立ソリューションズ	388	⑩	日立ソリューションズ	28

※NTTデータグループ社を含む

- 上位10社までの売上高合計が13,837百万円(前年同期比29百万円増)
- 構成比 47.0%(前年同期比4.3pt減)

顧客別売上高

単位:百万円

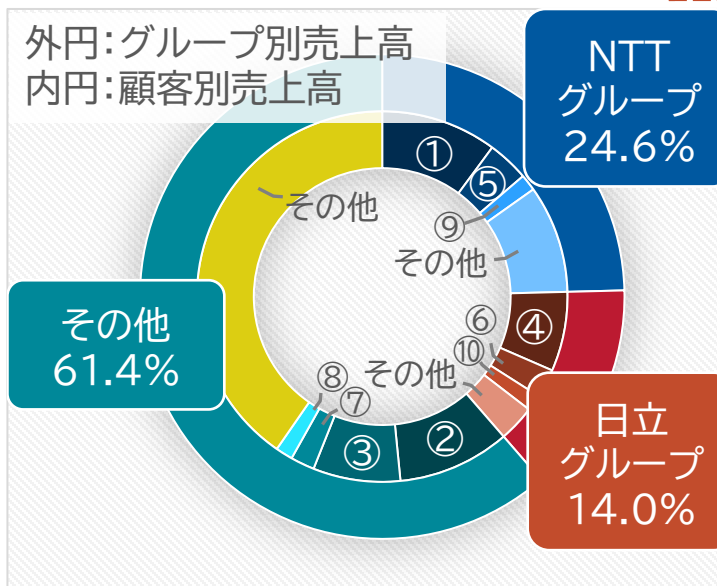
2026年6月期		構成比
顧客名(1,206社)	売上高	
① NTTデータ※	2,977	10.1%
② SCSK	2,882	9.8%
③ TISI	2,240	7.6%
④ 日立製作所	2,038	6.9%
⑤ NTTテクノクロス	1,064	3.6%
⑥ 日立産業制御ソリューションズ	735	2.5%
⑦ 中央コンピュータシステム	615	2.1%
⑧ 日本電気	441	1.5%
⑨ NTTデータ先端技術	424	1.4%
⑩ 日立ソリューションズ	416	1.4%
上位10位までの売上高合計	13,837	47.0%
11位以下の売上高合計	15,587	53.0%

※NTTデータグループ社を含む

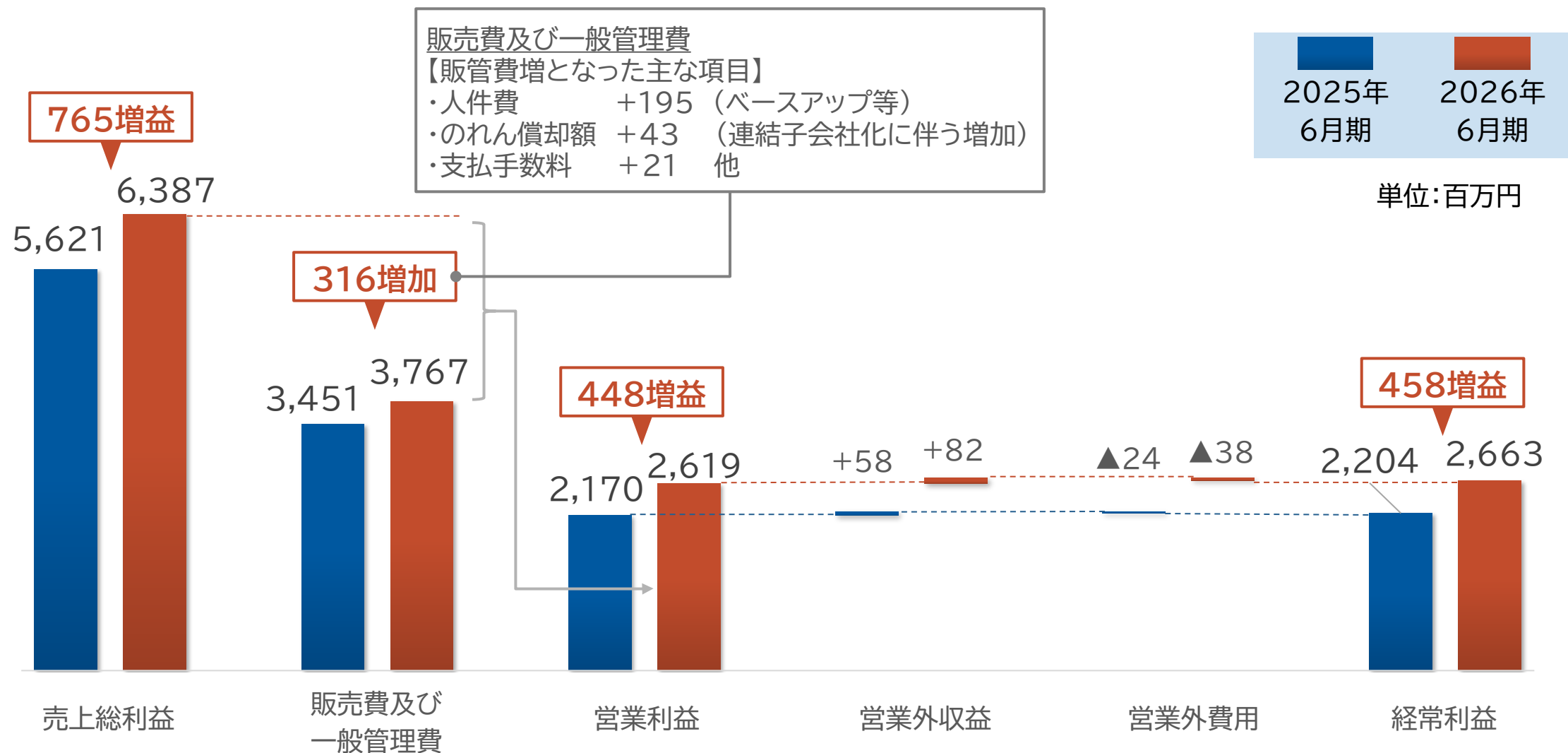
主要取引先グループ別売上高

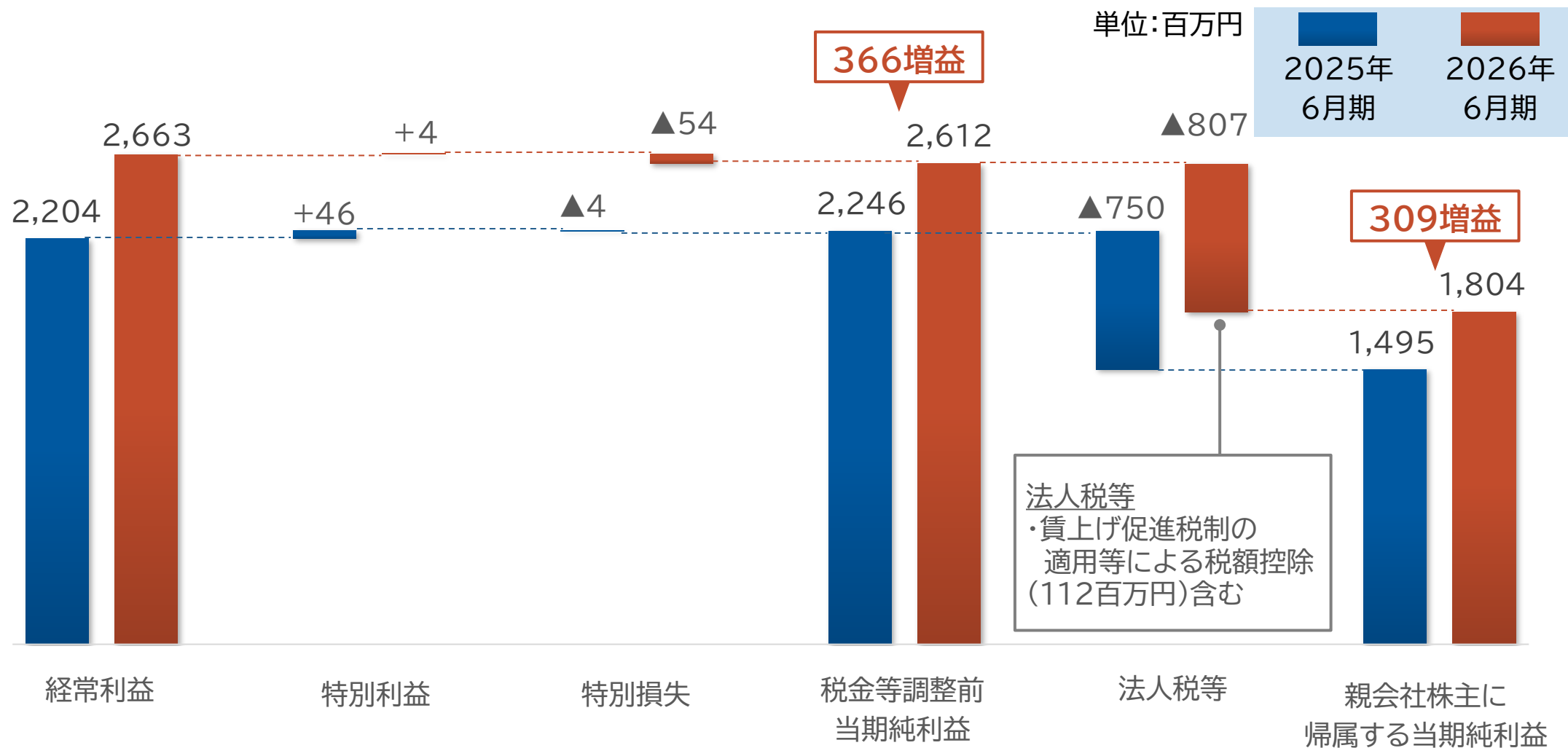
単位:百万円

グループ	2025年6月期			2026年6月期		増減額
	売上高	構成比		売上高	構成比	
NTTグループ	6,511	24.2%	39.4%	7,236	24.6%	725
日立グループ	4,081	15.2%		4,130	14.0%	48
その他	16,306	60.6%		18,058	61.4%	1,751



主要取引先グループ
(NTTグループ及び日立グループ)の構成比は、
前年同期比0.8pt減





1-8 2026年6月期の配当予想、配当実績、及び配当予定



	2025年6月期 実績	2026年6月期			
		配当予想 (2025年8月6日)	配当予想 (2026年6月3日)	配当実績	配当予定
中間配当	7.00円	8.00円	10.00円	10.00円	-
期末配当	8.00円	8.00円	10.00円	-	10.00円
年間配当	15.00円	16.00円	20.00円※2	-	20.00円※2
配当金総額	848百万円	-	-	-	1,127百万円
EPS※1	26.10円	-	-	-	31.96円
DOE※1	5.9%	-	-	-	7.6%
総配分性向※1	103.5%	-	-	-	90.1%

※1 EPS : 一株当たり当期純利益

DOE : 純資産配当率

総配分性向 : (配当金総額 + 自己株式取得総額) / 当期純利益

※2 配当額内訳 : 普通配当18円、創立50周年記念配当2円

2. 財務諸表

単位:百万円

科目	2025年 6月期末	2026年 6月期末
(資産の部)		
流動資産	13,633	14,276
有形固定資産	327	405
無形固定資産	1,215	1,108
投資その他の資産	3,499	3,603
固定資産	5,043	5,118
資産合計	18,676	19,394

※財務諸表に関する詳細な数値は、
「2026年6月期 決算短信」をご参照ください。

科目	2025年 6月期末	2026年 6月期末
(負債の部)		
流動負債	3,998	4,160
固定負債	161	234
負債合計	4,160	4,394
(純資産の部)		
株主資本	14,251	14,711
その他の包括利益 累計額	265	289
純資産合計	14,516	15,000
負債純資産合計	18,676	19,394
自己資本比率	77.7%	77.3%

単位:百万円

科目		2026年6月期末 主な増減要因及び増減額	
資産	流動資産	・売掛金 +399 ・有価証券 +246	+642
	固定資産	・長期前払費用 +86 ・建物及び構築物(純額) +63 ・ソフトウェア ▲81	+74
	資産合計		+717
負債	流動負債	・買掛金 +161	+161
	固定負債	・退職給付に係る負債 +57	+72
	負債合計		+233
純資産	株主資本等	・利益剰余金 +625 ・資本剰余金 ▲203	+483

単位:百万円

科目	2025年6月期 実績	2026年6月期 実績	増減額
売上高	26,899	29,424	2,525
売上原価	21,278	23,037	1,759
売上総利益	5,621	6,387	765
販売費及び一般管理費	3,451	3,767	316
営業利益	2,170	2,619	448
経常利益	2,204	2,663	458
特別利益	46	4	▲42
特別損失	4	54	49
親会社株主に帰属する当期純利益	1,495	1,804	309

科目	2025年 6月期	2026年 6月期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	1,782	2,048	265
投資活動による キャッシュ・フロー	▲885	▲213	672
財務活動による キャッシュ・フロー	▲1,639	▲1,704	▲64
現金及び 現金同等物の 期末残高	8,214	8,344	130

現金及び現金同等物の期末残高は
前年比130百万円増の8,344百万円となった

単位:百万円

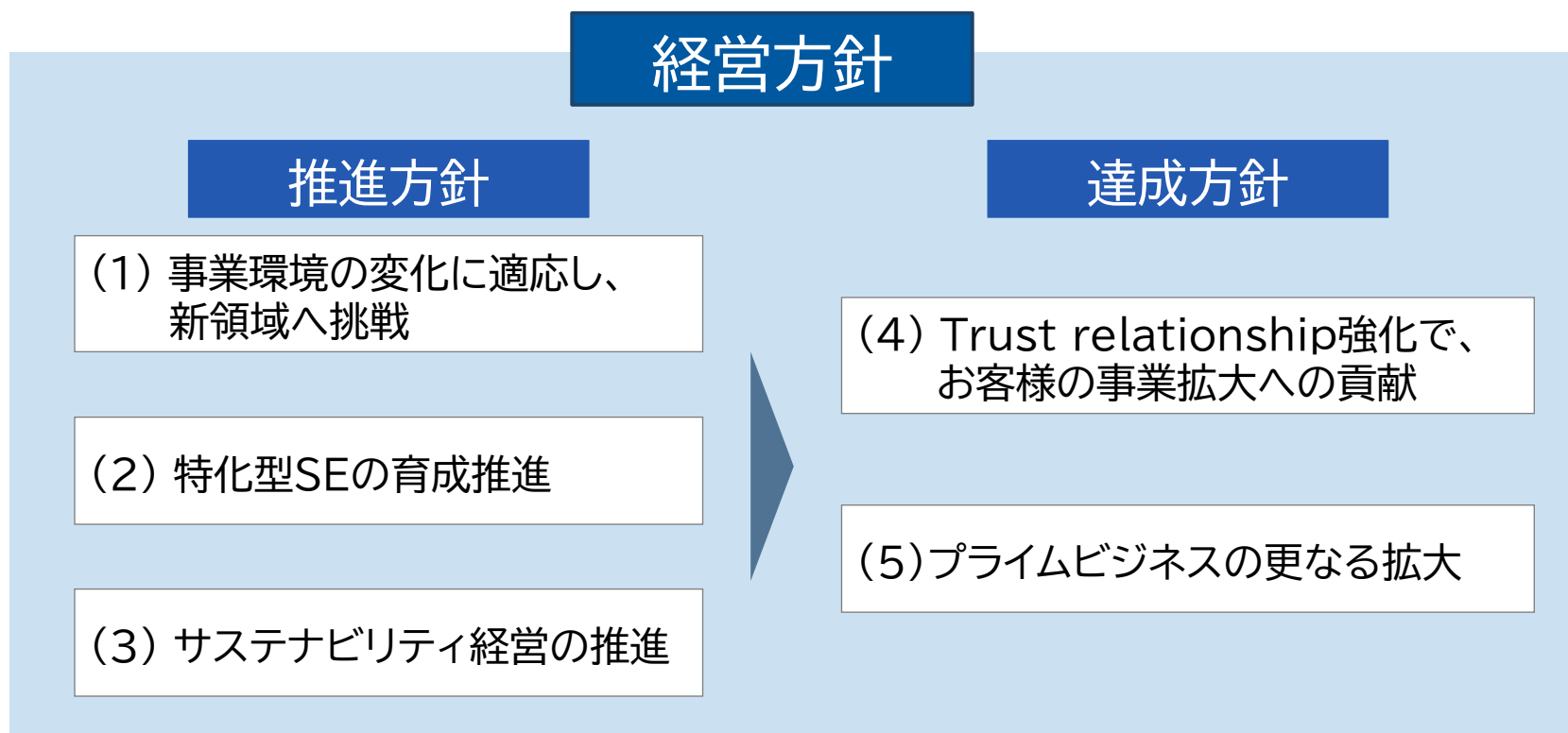
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,048
収入: 税金等調整前当期純利益	2,612
支出: 法人税等の支払額	▲810

投資活動によるキャッシュ・フロー	▲213
支出: 定期預金の預入による支出	▲1,400
支出: 連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出	▲147
収入: 定期預金の払戻による収入	1,416

財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,704
支出: 配当金の支払額	▲1,015
支出: 自己株式の取得による支出	▲501

3. 活動報告

推進方針に沿って各種施策を行い、達成方針の実現を目指す



推進方針

(1) 事業環境の変化に適応し、
新領域へ挑戦

(2) 特化型SEの育成推進

(3) サステナビリティ経営の推進

当期の主な施策

インフォテックソリューション株式会社の連結子会社化 ①

AI駆動開発※の導入に向けた取り組みを開始

日立製作所「デジタルシステム&サービスセクター」
との業務提携契約締結 ②

生成AI技術に関する研究成果の共有、技術者育成 ③

CDP、EcoVadis※を通じた情報開示と気候変動対策

サプライチェーンにおける調達方針及び
サステナビリティ推進ガイドライン等の策定を開始

事業環境の変化や社会的要請を踏まえた重要課題
(マテリアリティ)の特定に向けた取り組みを開始

※ AI駆動開発 : システム開発の各工程に生成AIの活用を前提に位置付ける手法

CDP : 投資家、企業、国家、地域、都市が自らの環境影響を管理するための情報開示システムを運営する組織

EcoVadis : 包括的な企業の社会的責任(CSR)評価サービスを提供する組織

インフォテックソリューション株式会社の株式を取得し、
2025年12月1日に同社を連結子会社とした

会社概要

- 名称 : インフォテックソリューション株式会社 
- 所在地 : 東京都豊島区
- 事業内容 : ソフトウェア受託開発、保守・運用、コンサルティング
- 設立 : 2002年3月12日

特徴

- 官公庁・社会インフラ系のシステム開発、金融機関・企業向けソフトウェア開発に強みを持つ
- 近年ではクラウド対応を新規事業として技術基盤の強化を図る

CIJグループ内において、各社間の技術領域や産業分野の相互補完を行うことで、技術者のスキルアップや顧客層の拡大に取り組み、
更なる成長・発展を目指し、お客様への提供価値をより高めてまいります。

業務提携の目的

- DXや生成AIなどの技術進化を踏まえ、当社と日立製作所が連携を強化し、技術水準の向上とIT人材の確保を図ることで、新たなビジネス創出と顧客価値の向上を目指す

業務提携の内容

- システム開発事業における協働
当事業において戦略的な協働関係の構築に努め、共同提案などを通じて相互協力を進める
- 人材育成の推進のための協働
両社間で人材交流・知識共有を進め、生成AI等の共同研修を実施する

(参考)業務提携の担当部署

- CIJ : 社会基盤・金融ビジネス事業部
- 日立製作所 : デジタルシステム＆サービスセクター

3-2 ③生成AI技術に関する研究成果の共有、技術者育成



生成AI技術の活用を経営の重要テーマと位置付け、以下のとおり取り組んだ

■ CIJグループ内への研究成果報告会の実施

- 目的：生成AI取り組み方針の周知と状況報告、利用方法の共有による社員の生成AIリテラシー向上
研究開発で習得した技術や応用研究の成果の共有による、社員の技術力向上
- 内容：CIJにおける生成AIに関する活用の取り組み、社内インフラ、教育の方針、
AI駆動開発の実施例、AIエージェント実装による業務改善の事例紹介 など

■ 実践的なハンズオン研修の実施

- 目的：生成AIシステムの構築案件を主体的に推進できる人材を育成する
特に、RAG(検索拡張生成)の精度改善に関して手順や難しさを理解することに重点を置く
- 内容：生成AIシステム構築に関する座学とRAGチャットボット構築ハンズオン
RAGの評価フレームワーク「Ragas」を使った精度評価・改善のグループワーク

今後は、開発工程への生成AI導入、AIエージェントの実装により、開發生産性と品質の向上を推進してまいります。また、最新の技術動向を踏まえながら、生成AI活用による企業価値向上に取り組んでまいります。

達成方針

(4) Trust relationship強化で、
お客様の事業拡大への貢献

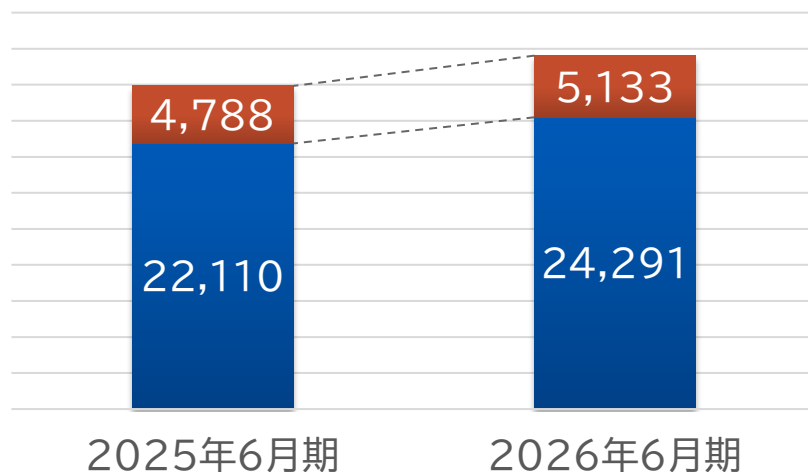
(5) プライムビジネスの更なる拡大

当期の概況

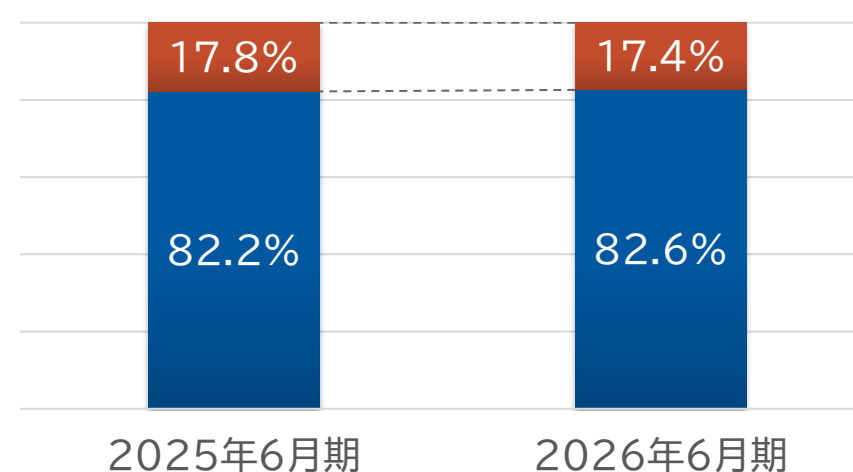
大手SIerからの受注が堅調に推移し、
SIer売上高が**増収**、SIer比率が**増加**

一定量の拡大を達成し、プライム売上高が**増収**
SIer案件の受注増により、プライム比率が**減少**

SIer・プライム売上高 単位:百万円

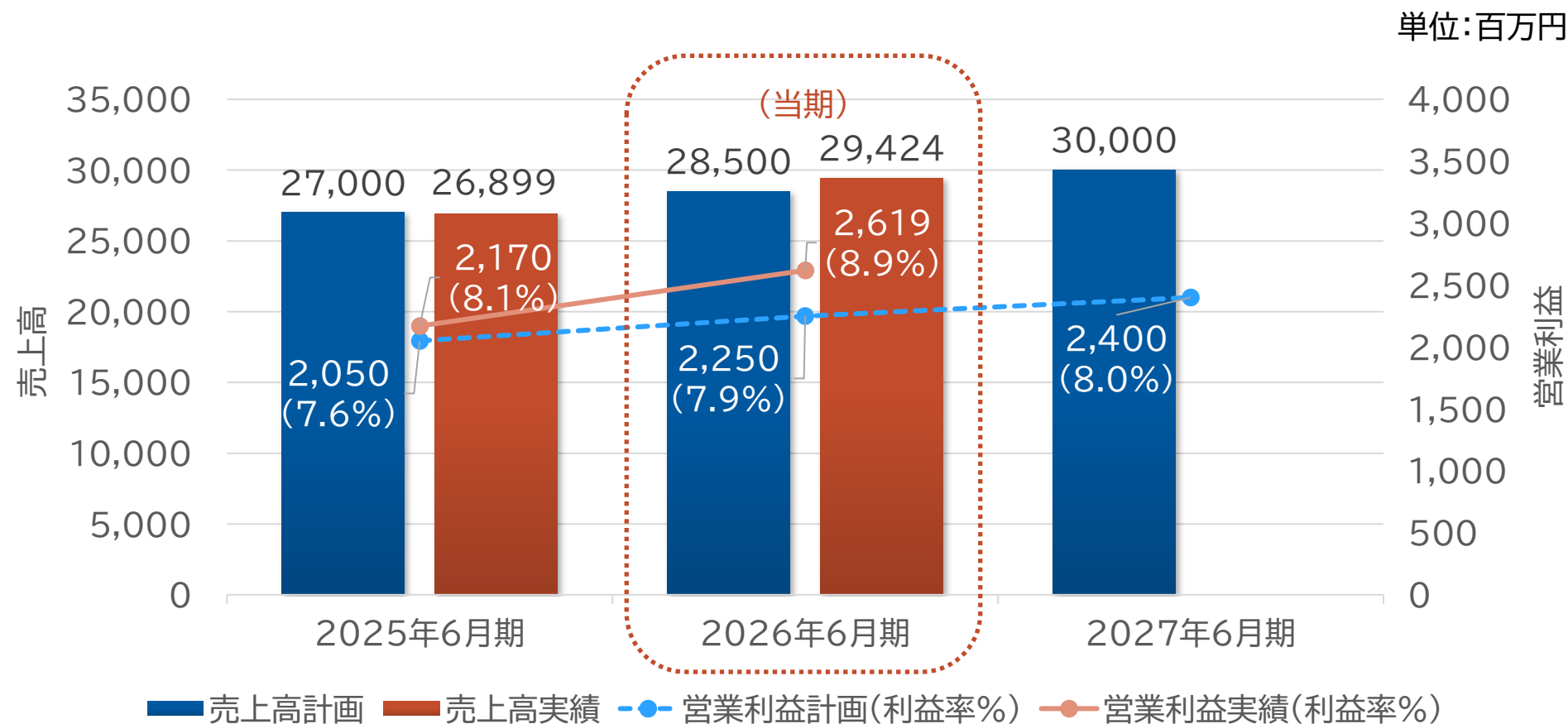


SIer・プライム比率

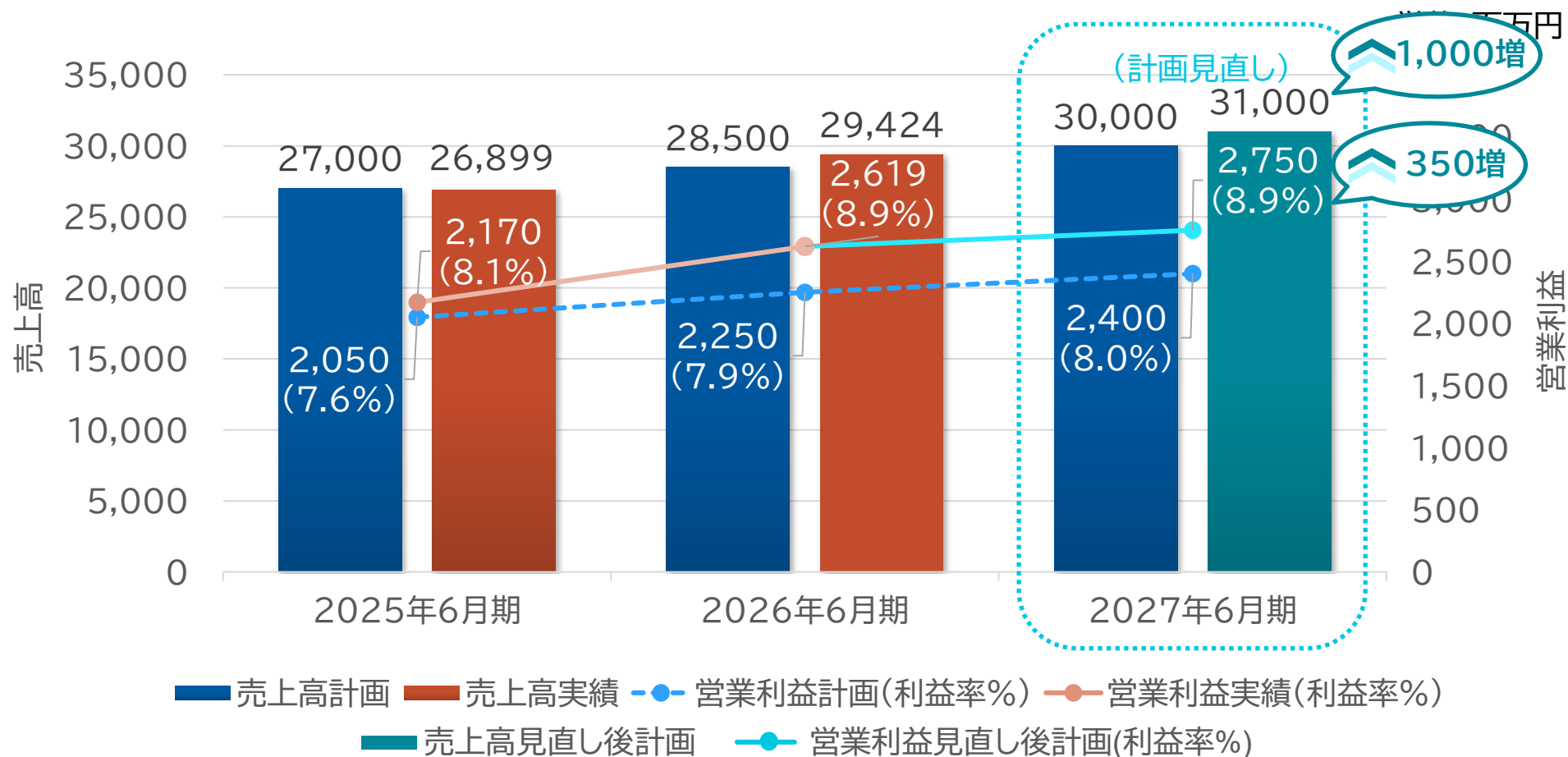


4. 中期経営計画の進捗

BECOME
the **STRATEGIC PARTNER**
with **IT** 50



- 売上高は、公共分野、エネルギー分野の受注が堅調に推移したこと、及びインフォテックソリューションを連結子会社化したことにより、**当初計画を達成**
- 営業利益は、売上高の増収、及び収益率改善が計画を上回る進捗で推移したことにより、**当初計画を達成**



当期の事業環境や今後の見通しを考慮し、人的投資を継続した上で、
2027年6月期の売上高計画を**10億円増**、営業利益計画を**3億5千万円増**とする

5. 2027年6月期配当予想

1株当たり配当額(年間) 21.00円

ご参考:過去の配当実績

	2022年6月期※1	2023年6月期※1	2024年6月期※1	2025年6月期	2026年6月期 (実績・予定)
中間配当	-	-	-	7.0円	(実績) 10.0円
期末配当※2	(8.3円)25.0円	(9.3円)14.0円	11.0円	8.0円	10.0円
年間配当※2	(8.3円)25.0円	(9.3円)14.0円	11.0円	15.0円	20.0円※4
配当金総額	494百万円	542百万円	634百万円	848百万円	1,127百万円
EPS※3	49.16円	29.27円	16.35円	26.10円	31.96円
DOE※3	3.7%	3.9%	4.4%	5.9%	7.6%
総配分性向※3	50.9%	73.0%	98.6%	103.5%	90.1%

※1. 以下の割合で株式分割を行っております。

- 2022年4月1日付:普通株式1株につき1.2株
- 2023年4月1日付:普通株式1株につき2.0株
- 2024年4月1日付:普通株式1株につき1.5株

※2. 経年比較のため、2022年6月期の期首に株式分割を行ったと想定した金額を、かっこ内に表記しております。

※3. EPS :一株当たり当期純利益
DOE :純資産配当率
総配分性向 : (配当金総額 + 自己株式取得総額) / 当期純利益

※4. 2026年6月期配当額内訳: 普通配当18円、
創立50周年記念配当2円

2026年6月期 決算説明会

【ご注意】

本資料の記載内容は投資勧誘を目的としたものではなく、一般的なIR情報の提供を目的としており、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について当社は責任を負うものではありません。本資料においては、決算短信にて開示しております業績予想数字とそれに関連するデータ等を記載しておりますが、完全な正確性及び妥当性等を保証するものではありません。当該情報に基づいて被るいかなる損害につきましても、当社は一切の責任を負いかねます。

【IRに関するご質問・お問い合わせ先】

株式会社CIJ 経営戦略本部 経営企画部 TEL:045-222-0555